

【柱1:子ども】

子育てについての第一義的責任は保護者が有しています。その上で、地域の宝である子どもがその尊厳を守られ、地域の支援の中で健やかに成長できるまち、地域に見守られながら子育てを楽しめるまちを築いていきます。

■ 分野別の達成状況

施策の達成状況をみると、「子育て環境の充実」「産前産後・乳幼児期の安心の確保」「子育てにかかる経済的負担の軽減」「就学前教育・保育の充実」は3点で最も高く、「青少年の健全育成」が2点で最も低くなっています。

分野	5年後の目標	施策	R7達成見込
分野1 産み育てる環境	安心して子どもを産み育てられる環境が充実し、すべての子どもがその子らしく健やかに育っている	1. 子育て環境の充実	3点
		2. 産前産後・乳幼児期の安心の確保	3点
		3. 子育てにかかる経済的負担の軽減	3点
分野2 就学前教育・保育	就学前の子どもが、家庭や地域に守られ、良好な育ちと学びの環境で伸びやかに生活している。	1. 就学前教育・保育の充実	3点
分野3 学校教育	子どもが学校・家庭・地域に学びながら「生きる力」を培って、未来に夢を描いている。	1. 学びの充実	2.75点
		2. 学校施設の整備	2.75点
分野4 地域子育て支援	子どもが地域社会の一員として尊重され、多様な体験機会に恵まれて、まちの将来を担う心と力を培っている。	1. 子どもの居場所・交流の充実	2.5点
		2. 青少年の健全育成	2点

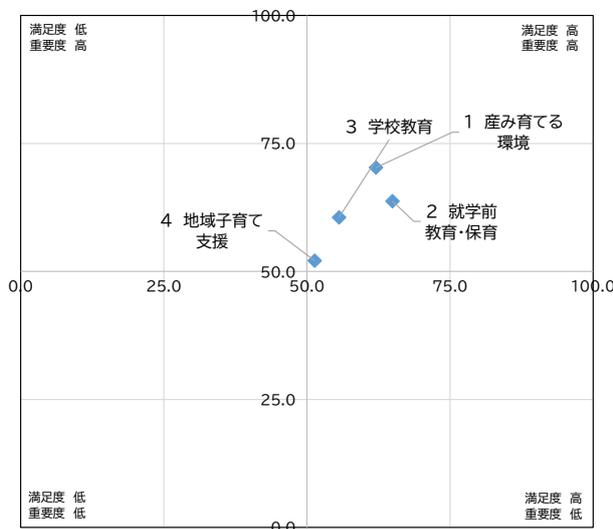
※ 達成状況は実施計画事業ごとの目標の達成状況について、「達成」3点「8割程度」2点「5割程度」1点「2割以下」0点、として加算し、その平均を施策の点数として算定。

■ 分野別の満足度と重要（市民アンケート調査結果）

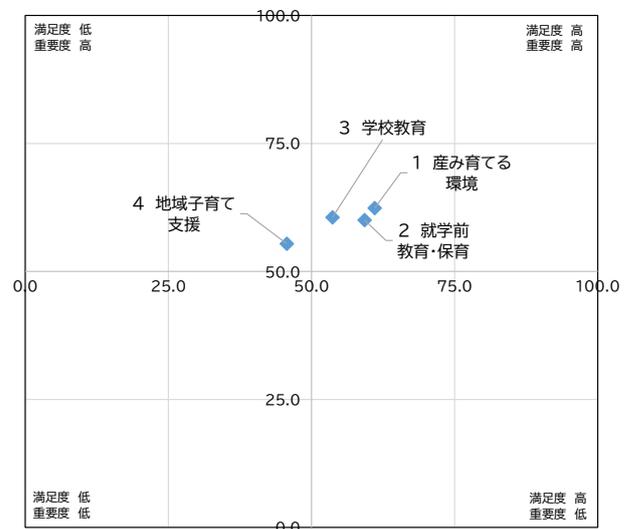
満足度・重要度のプロットをみると、「産み育てる環境」「就学前教育・保育」「学校教育」は重要度、満足度ともに高くなっています。これらの分野は前回調査と比較して、相対的な位置は変化ありません。一方で、「地域子育て支援」は重要度が高く、満足度が低くなっています。

《満足度・重要度のプロット比較》

前回調査（令和元年度）



今回調査



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

■ 施策評価

【分野1 産み育てる環境】

施策	施策1 子育て環境の充実	施策2 産前産後・乳幼児期の安心の確保	施策3 子育てにかかる経済的負担の軽減	
5年後の目標	多世代が交流し、子育てについて学び、悩みを気軽に身近で相談できる環境が整っている。	子どもを望む人が安心して妊娠・出産でき、また、乳幼児が健やかに育つ環境が整っている。	子どもの健康や成長、教育にかかる、家庭の経済的負担が軽減している。	
実施計画事業	<p>① 地域子育て支援拠点の充実事業</p> <p>地域子育て支援センターでは、親子が気軽に交流できる場を提供し、育児相談や「親子の絆づくりプログラム（ベビープログラム）」を実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、ひろば事業や子育て相談は予約制とし、交流や講習会の一部を中止または方法を変更しました。同感染症の影響で、目標値を下回る年度もありましたが、利用児童数は年々増加し、令和5年度には目標値を上回りました。</p> <p>② 児童虐待防止事業</p> <p>子ども家庭総合支援拠点を設置するとともに、京都府家庭支援総合センターなどと連携し、児童虐待未然防止、早期発見、児童及び保護者の支援を行っています。また、親支援プログラムや電話相談を通じて虐待の未然防止に努め、支援体制につなげています。</p>	<p>① 妊娠期からの切れ目のない子育て総合支援</p> <p>妊娠届出時の面接、必要に応じた支援プランの作成、多胎児への支援、経済的支援、産婦健康診査、新生児聴覚検査の補助等により妊娠期から出産後まで切れ目のない支援を提供しました。</p> <p>② 子育て応援教室事業</p> <p>感染症対策を徹底しながら Hello Baby 教室や離乳食教室をオンラインや対面で実施しました。育児支援家庭訪問事業では、保健師や助産師が妊産婦や育児中の家庭を訪問し健康状態や育児不安を把握しました。</p> <p>③ 発達障がい児（者）支援事業</p> <p>発達障がい児（者）の支援として発達支援ファイル活用と周知、庁内情報の連携の在り方の検討、調査研究等を進めています。</p> <p>④ 不妊治療等の給付事業</p> <p>不妊治療等の給付事業では、不妊治療や不育症治療を受ける夫婦に対し、自己負担額の補助等を行いました。</p>	<p>① 子育て支援医療費助成事業</p> <p>中学校卒業までの子どもに対し、保険診療を受けた際の自己負担額を助成し、令和5年度には助成対象を高校生まで拡充するとともに、広報や出生・転入時への案内で制度周知を進めました。</p> <p>② 幼児教育・保育の保育料無償化</p> <p>国の無償化制度を活用し、認可保育施設の保育料を無償化しました。また、京都府第3子以降保育料無償化事業を継続しています。併せて、0～2歳児の市基準保育料を国基準の8割程度に抑えました。</p>	
市民意見 (アンケート調査等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊具のある公園・児童館等の子どもが遊べる屋内施設を充実してほしい。【関連：都市緑化と水辺環境整備】 ・ 関西圏で子育て環境に適した地域としてPRしてほしい。 ・ 児童センターや無料で未就園児が遊べる講座も他市に比べると少なく、行ける所がない。 ・ 公園はキレイだが、木など自然がなく影がないので夏はとて遊べない。【関連：都市緑化と水辺環境整備】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産前後の女性の心身のケア対策を充実してほしい。 ・ 赤ちゃんをつれて出かけられる場所、居場所を増やしてほしい。 ・ 休日診療・救急の受け入れ可能な小児科、（無痛分娩可能な）産婦人科を増やしてほしい。【関連：医療体制の確保】 ・ 検診や講座がある保健センターが遠く、交通の便も悪く参加したい事があっても難しい。【関連：交通ネットワークの充実】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生後の経済的補助を充実してほしい。 ・ 子どもの医療費が月200円なのでとても助かっている。 ・ 第1子の保育料の無償化を0才～にしてほしい。 ・ 教育費の負担を各家庭均一に減らしてほしい。 ・ 出産や子育てに係る独自の給付を実施してほしい（出産祝金・幼児教育無償等） 	

【分野2 就学前教育・保育】

施策	<p>施策1 就学前教育・保育の充実</p>
5年後の目標	<p>希望する教育や保育サービスを利用でき、子育てをしながら安心して仕事を続けられる環境が充実している。</p>
実施計画事業	<p>① 保育所施設整備事業 新たな保育施設の整備はありませんでしたが、民間保育園の利用定員を調整し、待機児童をゼロに維持しています。加えて保育士の確保、保育提供体制の充実に努めています。</p> <p>② もうすぐ一年生事業 小学校生活への期待を膨らませるとともに、不安の解消につなげるため、スライド配布、体験活動、入学後のフォロー体制構築、幼児教育施設と小学校の連絡会議等を実施しました。</p> <p>③ 多様な保育サービスの確保 小規模保育事業や病児・病後児保育事業、休日保育などを提供し、認可外保育施設の運営を支援しました。</p>
市民意見 (アンケート調査等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所が少ない。 ・ 地域子育て支援センターの予約を簡単にできるようにしてほしい。 ・ フリーランスも多い時代、保育の条件の見直しをしてもらいたい。 ・ 保育園にシルバー人材を登用するなど地域活性化を図るのも良いと思う。 ・ 保育要件を緩和してほしい。

【分野3 学校教育】

施策1 学びの充実	施策2 学校施設の整備
<p>学校・家庭・地域の連携のもとで、児童生徒が「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」を育てている。</p> <p>① 読書活動の充実 学校図書館司書を配置し、図書館環境の整備や読み聞かせ、ブックトークを実施しました。</p> <p>② 外国語活動推進事業 英語指導助手(AET)を配置し、英語教育を充実させました。</p> <p>③ 教師力・学力向上支援事業 ICT機器の活用や少人数授業を実施し、児童生徒の学力向上を図りました。</p> <p>④ 学校ICT活用推進事業 タブレット端末を導入し、授業や家庭学習での活用を推進しました。</p> <p>⑤ 「育ち」と「学び」の支援体制整備 コロナ禍でも教職員研修や子どもの発表の場を工夫し実施するとともに心理相談や不登校支援に注力し、児童生徒の安心できる環境づくりに貢献しました。</p> <p>⑥ いじめの問題等への対策 いじめ調査や対策指導員の巡回を実施し、早期発見と対応を徹底。学校と市教委が連携し、いじめ防止に努めました。</p>	<p>学校の安全・快適性と良好な学習環境が保たれ、地域住民の集いの場や災害時の避難所として機能している。</p> <p>① 学校施設安全・快適整備 防水・外壁等改修工事、空調設備の設置、照明のLED化、トイレ改修、エレベーターの設置、テニスコート整備工事などを行い、学習環境を向上させました。令和5年には、すべての特別教室の空調工事が完了しました。</p> <p>② 学校施設再整備事業 長岡第四小学校の新校舎を完成させ(令和5年12月)、長岡第三小学校の基本・実施設計については、ワークショップ等を取り入れながら進めました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の労働条件の向上(賃金と労働時間)が良い教職員を多く集めることができそのことが児童や生徒の為になる。 ・ 市として、統一した教育方針のもと、どこの学校でも質の高い学力、確かな人間性を育て欲しい。 ・ 平等に教えてもらえる環境づくりを。 ・ フリースクールに通う家族に補助金を ・ 小学校、中学校の給食費無償化を望む ・ PTAの改革、教育委員会をもっとオープンにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学童にもスクリレを導入して、学校をお休みする時に学童にも自動的に連絡できるシステムにしてほしい。 ・ 長法寺小学校の学童建て替えを早く推進してほしい。 ・ 中学校がどこも古いので建替えを進めてほしい。 ・ 通学の安全性を確保する。

【分野4 地域子育て支援】

施策	施策1 子どもの居場所・交流の充実	施策2 青少年の健全育成		
5年後の目標	地域ぐるみで子どもを育てる気運が高まっており、地域の大人に見守られて子どもが生き生きと活動している。	地域に見守られて、青少年が社会性を備えた健全な大人として成人し、仲間とともにまちの未来を担っている。		
実施計画事業	<p>① 放課後児童クラブ育成事業</p> 四小の施設の建築完了に伴い新施設に移転し、民間運営委託を実施しました。コロナ対策として消毒液の配布や空調機器を更新し、保育環境を整えました。 <p>② 地域学校協働推進事業</p> すすく教室と中学校教育支援事業を統合し、全小中学校で活動を展開しました。コロナ禍で始まった事業は、初年度は活動が制限されたものの令和4年度より全校で再開し、参加者数や活動日数が増加し、地域と子どもたちのつながりを強化しました。 <p>③ 児童館子どもの居場所づくり事業</p> 児童教育相談員を配置して学習や相談環境を提供し、各種教室やサロンの開催を増やして、乳幼児親子や子どもたちの居場所を確保しました。	<p>① 地域見守り活動の推進</p> 校区ごとにパトロールや地域の見守りを行いました。「安全・安心長岡京市子ども絵画展」では地域の安全安心をテーマとすることで防災意識を高め、「たそがれコンサート」では、活動場所提供や啓発活動を目的に実施しました。また、中学生とトークでは、年度ごとにテーマを変え、少年補導委員と中学生が少年犯罪や安全なまちづくりについて話し合いました。		
市民意見 (アンケート調査等)	<ul style="list-style-type: none"> 学校以外での学ぶ場所の選択肢を多くしてもらいたい。 学童の教員も増やしてほしい。 保育園と学童の休み(お盆など)が異なり、困る。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援は年齢の上限がありますが、大学生の頃には何もありません。大学の頃に一番生活が困窮していた。高校生、大学生になってからの支援があるとよい。【関連：子育てにかかる経済的負担の軽減】 守ることは大切ですが、少し負担をかけて、自力で乗り越える力を養ったり、「逆境」は人を成長させる」と言います。強い心も育てて行けたら良い。 		